

## 普及活動情勢報告（平成29年6月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 地域全体で黄化えそ病対策をしよう ～春野町黄化えそ病対策協議会～



効果的な対策を討議

6月5日、JA高知春野で、部会の支部役員の生産者、普及所等の関係機関、合計25人で、黄化えそ病対策協議会を開催し、今年の事業計画について討議しました。

結果、ハウスの蒸し込みが徹底されていないので蒸し込みが不十分な圃場への巡回の頻度を高めることや、天敵の温存植物「クレオメ」を種子配布しているが、時期的に発芽が難しいことから、苗の配布に変更すること、厳寒期のハウスの蒸し込み温度とアザミウマ類の死滅程度を調査していくことになりました。

今後もJAと連携して、黄化えそ病対策の徹底をしていきます。

### 穂肥について学ぼう！ ～JA高知春野 水稻現地検討会～



幼穂の見方を説明

6月6日、JA高知春野管内の水稻生産者21名を対象に穂肥の現地検討会を開催しました。

普及所からは、気象や水稻の生育状況、病害虫の発生状況について情報提供した後、今後の管理について説明しました。また、その場で幼穂長を見て今年の出穂日の予想を行いました。出席者からは「今年の出穂は遅れそう」「幼穂の見方が分かった」といった感想が聞かれました。

今後も、JAと連携して適期の病害虫防除や早期落水防止による登熟向上、適期の刈り取り等を指導していきます。

### トマトでも天敵利用を ～JA高知春野トマト部会～



天敵の利用方法を協議

6月6日、JA高知春野トマト部会で天敵利用の勉強会をJA高知春野で開催し、生産者7人が参加しました。JAからは病害虫の農薬の紹介を、普及所からは平成29年度のトマトにおける天敵の実証の結果を報告しました。

参加者からは天敵を利用する際の農薬や栽培管理の質問、トマトでの天敵利用を広めてほしいなど意欲的な質問や要望が出されました。

普及所は、今後もJAなど関係機関と協力して、天敵利用における効果の周知と普及を推進します。

### 病害虫の防除徹底は土から！ ～きゅうり部会勉強会～



生産者からの熱心な質問に回答

6月7日、JA 高知春野できゅうり部会を対象にキュウリ勉強会を行い、48名の出席がありました。

JA からはキュウリの品種特性について、普及所からは蒸し込みや還元土壌消毒について、全農からは土壌消毒剤について説明を行いました。生産者からは、還元土壌消毒時の臭いが広がる範囲や、具体的な方法について質問があり、実践してみたいという反応もありました。

今後は、キルパーを使った土壌消毒試験を計画しており、消毒前と後のスリップスの密度の調査や病気の発生程度の聞き取りを行い支援を行っていきます。

### ネットでどこまで防げるか！ ～グロリオサの防虫ネットの効果調査～



実証ほのグロリオサの生育状況

高知市営農技術会議では高知市三里で、グロリオサにおける防虫ネットの普及拡大に向けた実証調査を実施しています。これまでの調査結果では、野外環境により被害の程度に差があることや、ハウス内での虫の移動の傾向がわかり、アザミウマの減少には防虫ネットだけでなく、定植前の蒸し込み処理が有効であることが分かりました。実証農家からは、比較的簡単なことでも、被害軽減につながることに驚きの声があり、害虫防除対策に対する意識の改善が実感できています。

今後は、この実証ほに高温対策としての遮熱資材を導入し、夏の暑さに対応した害虫防除対策の確立に向けた調査の継続と、部会全体への技術の普及を進めていきます。

### GAP の取組を点検中 ～JA 高知春野キュウリ集出荷場～



出荷場内を点検中

6月20日に、月1回の「JA 高知春野集出荷場 GAP の取組」について園芸連と普及所が点検を行いました。

前回の5月の点検時に指摘されていた、予冷库の温度設定の改善や防鳥ネットの破損部の修繕などの取り組みが行われています。

普及所は、今後も園芸連と協力して定期的に集出荷場 GAP の点検や確認を行いながら、適正な取り組みができるよう JA 担当者に支援をしていきます。